発表者マニュアル（会場）

発表時間

・個人発表は、「発表時間 30 分＋質疑応答時間 10 分」となります。

・パネル企画は「2 時間」です。

配布資料について

・配布資料がある場合は、PDF にして 11 月 11 日(木)午前中までに Google ドライブの当該セッションのフォルダにアップしてください。（Google ドライブの URL は事前に通知します）

※共有フォルダにアップする発表資料のファイル名は、「A-1_信州 桜太」「パネル企画_信州 桜子」等としてください。（_は半角スペース）

・会場参加者への配布資料は発表者ご自身が来場者の人数分印刷して持参し、入室次第速やかに教室入り口横に設置してください。

スライドについて

・発表は、Power Point または PDF を用いて行います。

スライドのサイズは「ワイド画面（16:9）」ではなく、「標準画面（4:3）」としてください。

・PPT が不調の場合にそなえて、スライドの PDF 版を用意しておくことを推奨しています。

・発表用のパワーポイントのデータや PDF は、当日 USB メモリに入れて必ず持参してください。

・音源や映像は Power Point に埋め込んで作成することも可能です。

※ただし、配布資料および画面共有資料において掲載可能な内容（視聴覚資料や楽譜）については、著作権上の問題に十分配慮の上、各自の責任で判断、処理を行ってください。

！ ※スライドが正常に再生されなかった場合に備え、埋め込んだ音源・映像をそれぞれ MP3・MP4 ファイルで別途用意し、USB メモリで当日持参してください。ファイル名は、発表中での使用順がわかるよう、「001_○○○.mp3」「002_△△△.mp4」のように頭に番号を記してください。

※YouTube 等オンライン動画へのリンクの埋め込みは不可です。

使用機材について

・会場 PC（Windows10）とスライド操作用リモコン、および手持ちマイクをご用意しています。ご自身のパソコンを用いて発表することはできません。

・会場 PC は会場担当者が操作します。担当者が Zoom に資料共有をしますので、講演者はスライド操作用リモコンで資料を操作してください。

※パワーポイントの「発表者ツール」は使用できません。

2．当日・参加時の注意

感染防止対策

・体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※）は、Zoom 参加に切り替え、その旨、実行委員長に連絡してください。

・大会に現地参加される方は、当日必ず検温をしてからご参加ください。

・入館前に検温、手指の消毒、体調等の確認をいたします。体温が 37.5 度以上の方、咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛などかぜ症状のある方は、参加をお断りいたします。

・参加者の把握のため、建物入口で受付を行います。必ず受付を済ませてからご入館ください。

・来場者が集中した場合は、お待ちいただくことがありますので、余裕をもってお越しください。

・会場内ではマスクを必ず着用し、咳エチケットを心がけてください。

・会場で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退場をお願いする場合があります。

・大声を出さず、静かにご参加ください。

・こまめに手指の消毒・手洗いをお願いします。

・会場入口ドアは常時解放いたしますので、閉めないでください。

・1席空きで座るようシールを貼っておりますので、間をあけてご着席ください。

・昼食は会場内でとって構いませんが、その際は黙食をお願いします。

・講演会会期中および講演会終了後に COVID-19 陽性と診断された場合は、速やかに大会実行委員会 office2021@am.musicology-japan.org までご連絡ください。

※体調が悪い場合や感染が疑われる場合

・37.5 度を超える発熱
・咳、のどの痛みなど風邪の症状
・だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
・嗅覚や味覚の異常
・体が重く感じる、疲れやすい等
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

その他ご留意事項

・以下の場合においては、個人情報を開示することがあります。
法令の根拠に基づき、開示を求められた場合
公的機関（保健所等）からの正当な理由に基づく要請のある場合

【感染者が出た場合】
・新型コロナウイルス感染者が発生した場合、プライバシーに配慮の上、参加者の皆様に発生状況を速やかにお伝えいたします。

その他

・どなたが現地参加されるかについてのお問合せには一切お答えできません。

3. 当日の入場方法

入室方法

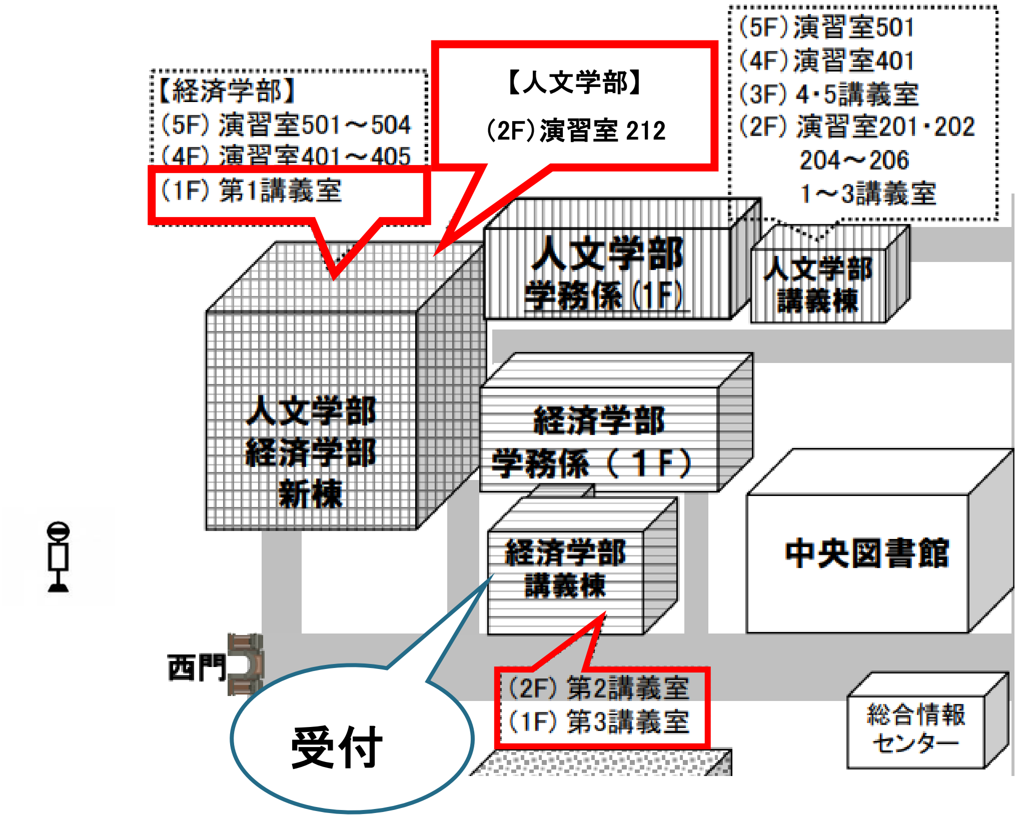
・入場・建物の入口で、受付を済ませてから入場してください。

・大会プログラムから、発表セッションの日時を確認してください。

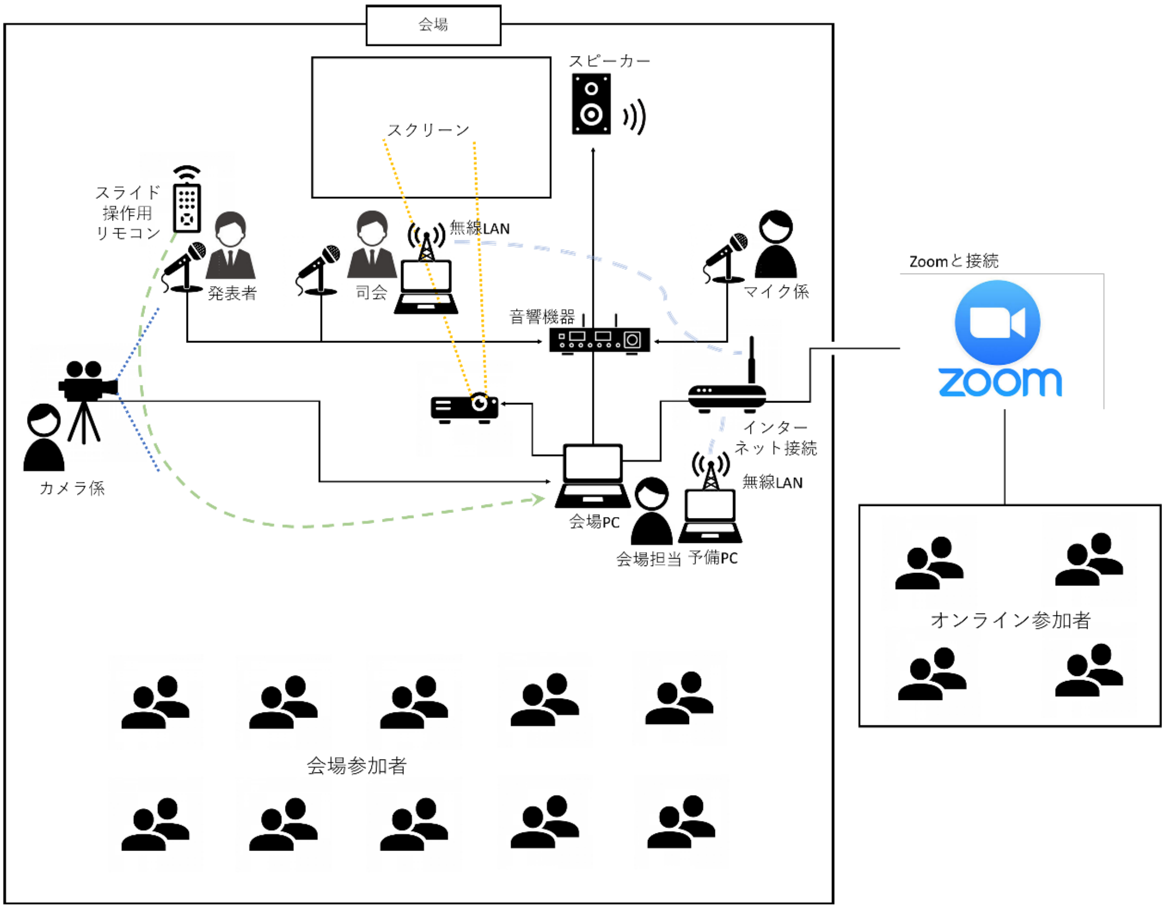
※本大会は4つの会場があります。事前に会場の位置を確認してください。

・各会場入り口のテーブルから、各発表者の配布資料を取って入室してください。

・発表者は、入室をセッション開始の 30 分前までに完了してください。



会場図



入室後

・会場参加者への配布資料は、発表会場入り口横のテーブルに設置してください。

・以下の該当する時間にお越しください。

13 日（土）午前セッションの発表者〔8:30〕
午後セッションの発表者〔12:10〕

14 日（日）午前セッションの発表者〔8:30〕
午後セッションの発表者〔12:00〕

※発表用ファイルの入った USB メモリを必ず持参してください。発表者用 PC に USB メモリを差し込み、会場担当者とともに動作の確認を行います。

※会場 PC にコピーした発表用データは、セッション終了後、責任をもって削除します。

※発表用スライドは事前に動作チェックを必ず行ってください。

※発表開始予定時刻を５分過ぎても発表者が現われない場合は、発表を打ち切らせていただく可能性があります。余裕をもって会場に入室してください

4．発表の手順

・会場担当者が、パワーポイントの「スライドショーの開始」（または PDF の表示）まで行う。

・司会者から指示があったら、発表を開始する。

・配布資料のある場合は、Google ドライブ上にアップロードしてある旨を口頭で説明する。

・個人発表は、「発表時間 30 分＋質疑応答時間 10 分」。

・発表者は、スライド操作用リモコンを用いてスライドを進める。

※発表者の画面は、Zoom を通じてオンライン参加者にも配信されます。Zoom の操作は会場担当者が行います。

5．質疑応答と発表終了

質疑応答

・質疑応答の時間に入っても、原則としてスライド資料は表示したままにしておく。
（資料にページ番号を入れておくと、質問にスムーズに対応できる）

発表終了

・質疑応答を終え、司会の指示があったら、自分の席に戻る。

6．トラブルへの対処

トラブルへの対処は、会場担当者が行います。

※不具合等が生じても十分なサポートができない可能性がありますこと、あらかじめご容赦ください。

※予想外の技術的なトラブルで、発表ないしセッションが続行不可能となった場合は、後日録画し、期日限定で公開することを計画しています。

※本マニュアルは、情報処理学会第 82 回全国大会、2020 年電子情報通信学会総合大会第 26 回大学教育研究フォーラム、言語処理学会、第 26 回年次大会日本文化人類学会第 54 回研究大会、第 82 回応用物理学会秋季学術講演会で使用されたものに加筆・修正をほどこし作成したものです。ここに記して感謝申し上げます。